

市長へ政策提言書を提出しました

白石市議会では、昨年7月に各常任委員会で行政視察を実施しました。その視察における先進自治体の事業を参考に本市の事業に取り入れるため、視察後その成果と検証を行い、本年9月22日(月)に山田市長宛て「政策提言書」をそれぞれ提出しました。

政策提言書の内容は次のとおりです。

◎総務産業建設常任委員会

提言内容：鳥獣被害対策について

参考事例：長野県大町市

提案内容：鳥獣被害は農業従事者のみならず、住居・自家用車等に対する住環境被害が発生しています。さらに全国的には「クマ」による人的被害が報道されております。市民の生命・財産を守るためにも、鳥獣被害対策専門部署を設置しさらなる協力体制を構築すること、捕獲用大型檻を所持することが望まれます。

事業効果：鳥獣被害対策専門部署を設置し複数名の担当者を選任することや、自治会等と連携することで、鳥獣被害防止対策の成果が上がり、市民の協力意欲が向上し、被害を減少させることができます。

◎厚生文教常任委員会

提言内容：祖父母手帳及び孫育て講座について

参考事例：山形県天童市

提案内容：祖父母世代が育児をしていた時代に比べ育児方法が大きく変化している中で、祖父母が知っておくべき現在の子育ての常識や、父母との円滑な関係を構築する付き合い方など「子育て」のヒントが祖父母手帳に掲載されています。祖父母手帳を教科書に祖父母がストレスをため込むことなく、未来ある孫を健やかに育むため、時代に合った育児の方法や考え方や家庭内での意見の交わし合い方、無理なく孫と遊ぶ方法を学びます。

事業効果：育児の方法や考え方が時代とともに変化する中「手帳」を通じて、子育て中の父母世代と祖父母世代がお互いに育児についての理解を深め、世代間のギャップを埋めることができ、共に楽しく育児に向き合うきっかけになります。講座でも子育て支援の情報提供、現役保健師と直接相談等ができ、コミュニケーションの場を築くことで祖父母同士の不安解消ができ、祖父母の社会参画を促し生きがいの創出につながります。



政策提言書提出の様子 (左：総務産業建設常任委員会 右：厚生文教常任委員会)